

実践演習の終了後には、必ずレポートを提出してください。提出されない場合には、単位は認定されません。

¶ レポート提出先：WINGS ホームページ >

[カリキュラム > 実践演習 > レポート提出](#) の各研究科フォルダにアップロードして下さい。

レポート名は「プログラムID_名前_Practice」としてください。

¶ 提出期限：実習終了後、2週間

- * 提出時（もしくは、やむをえない事情により遅れる時など）には、事務局（wings-life@m.u-tokyo.ac.jp）に提出したことをメールで連絡してください。

¶ レポートの記載内容について

- * 以下については、基本的なスタイルと考えて下さい。演習の内容に応じて適宜変更可であり、より充実している内容であることが望ましいです。演習における活動状況とレポートの評価により、単位を認定します。趣旨を理解した上で丁寧に作成して下さい。ページ数については特に定めませんが、この方針を理解した上で大学院博士課程における単位習得という観点で考えて下さい。
- * 書式は、HP の [カリキュラム > 実践演習 > 演習資料](#)、または、[ダウンロード > 実践演習 > レポートテンプレート](#) からダウンロードして下さい。

(0) 背景・課題・目的

→自身の現在の研究内容について記述した上で、本実習の内容とその関連性について述べ、本実習における課題および目的について具体的に記載して下さい。また、新たな技術の習得などにおいては、その新技術についての背景・内容についても説明をして下さい。

(1) 実習のスケジュール等概要

→具体的なスケジュール等について記載して下さい。海外研修においては、旅程についても記載して下さい。

(2) 実習における具体的内容・方法・結果など

(3) 課題・目的を踏まえた上での考察

(4) 自身の研究への関連を踏まえた展開、今後の発展性、新たな課題。および、異分野

融合の観点からどういった新たな学問領域の可能性が期待されるか。

(5) 実習の感想、要望など